

河辺地域 包括支援センター社協だより

令和元年度版

地域包括支援センターってどんなところ？

地域で暮らす高齢者の皆さまを、介護・福祉・健康・医療などさまざまな面から総合的に支える窓口です。いつまでも健やかに住み慣れた地域で生活していけるよう、地域包括支援センターを積極的にご利用ください！

総合相談事業

昨年は148件のご相談がありました。

相談内容（重複あり）

- ・介護申請（91）・介護全般（4）
- ・認知症（25）・精神疾患、アルコール（3）
- ・ケアマネの紹介（12）・体調（3）・病院（8）
- ・デイサービス（21）・デイケア（1）・リハビリ（2）
- ・短期入所（3）・施設入所（4）・福祉用具（11）
- ・住宅改修（2）・訪問看護（1）・ヘルパー（2）
- ・看取り（1）・介護タクシー（2）
- ・運動教室（1）・配食（4）・緊急通報（1）
- ・雪かき（2）・家の修理（3）・自然災害（3）
- ・生活困難（8）・状況確認（5）
- ・苦情（3）・消費者被害（1）

相談対象者の年齢

年齢	人数	年齢	人数
～64歳	2	80～84歳	31
65～69歳	10	85～89歳	47
70～74歳	11	90歳～	26
75～79歳	19	不明	2



主任ケアマネ、
社会福祉士、
看護師がお答え
します。

地域づくり サロン交流会



介護予防事業 はつらつくらぶ



人生100年、元気に楽しみましょう!!

権利擁護（特殊詐欺予防、成年後見制度など）

この言葉に要注意！！



元号が新しくなり、法律も変わりますのでキャッシュカードを交換しましょう

オリンピックが近づき今お持ちのキャッシュカードは使えなくなります

あなたを狙っています！

令和「改元詐欺」「オリンピック詐欺」！！



こんなことは決してありません。だまされないように！！

市役所職員や警察が個人の暗証番号を電話で聞いたり、自宅に通帳やキャッシュカードなどを受け取りに来るなどということは絶対にありえません。このような電話があったときは、警察や消費者センター、地域包括支援センター等にご相談ください。

2018年の特殊詐欺被害認知件数1万2367件のうち65歳以上の件数が78%を占めています。高齢者の被害割合が多い手口はオレオレ詐欺（8851件）/還付金詐欺（1616件）です。

認知症などで道に迷う心配があるかたへ…

秋田市認知症等高齢者 事前登録のご案内

認知症等により、判断力や記憶力が低下し、道に迷ったり、自分の家がわからなくなってしまうことがあります。秋田市では、そのような事態に備え、早期の発見・保護、早期の身元確認につなげる「事前登録」を実施しています。



ステッカー
の見本です

◆事前登録の流れ

事前登録を希望する方は包括支援センターへ連絡を下さい。

情報（氏名・住所・症状・緊急連絡先等）を市へ登録します。

登録された方には登録番号を印字したステッカーを配布します。（活用方法は自由です）

登録された情報は警察と共有し、道に迷った時の早期発見・保護につなげます。

詳しくは河辺地域包括支援センター（TEL 018-882-5565）までお問い合わせ下さい。



～相談の現場から～

「認知症の方が地域で暮らし続けるために…
85歳男性のケース」



1年ほど前から、通帳や保険証をなくしたと銀行や郵便局、市民サービスセンターに何度も再交付に来たり、「泥棒に入られた」と警察に相談していました。認知症なのではないかと包括支援センター（以下、包括）に情報提供があり、包括が関わりました。

包括では専門医受診を勧め、病院で検査し認知症と診断、服薬治療を始めました。

ご自分で運転し温泉に行っていました。介護申請を行い温泉に行く気分でデイサービスを利用することで、自然に運転をやめることができました。

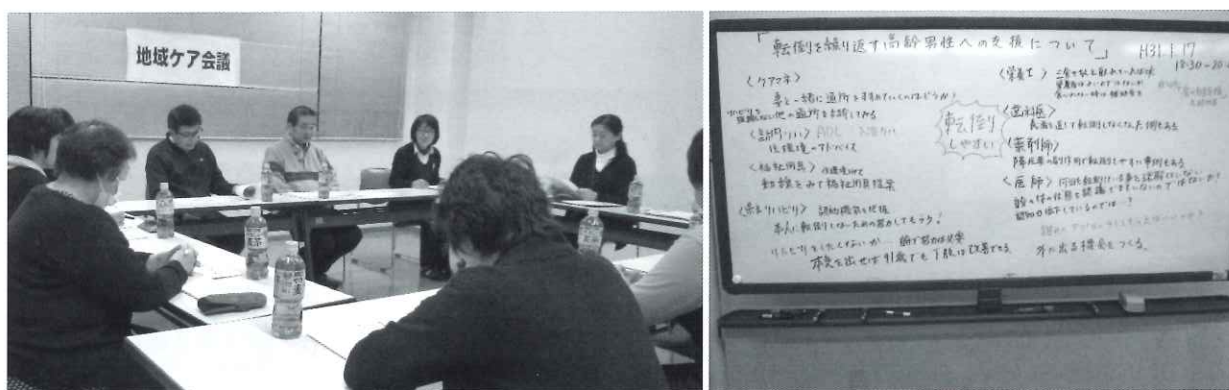
さらに、この方を地域で支えるために、家族・医療・介護関係者や地域の方々を交えて「地域ケア会議」* を開催し、認知症への理解を深め、地域での対応方法について話し合いを行いました。

それ以降、地域の方々はこの方を見かけると声かけをしたり、困っているようであれば本人に優しく寄り添い、対応してくださっています。

介護や認知症に関する相談や心配ごと、悩みや問題があれば、何でもご相談ください。

*地域ケア会議とは？

医療と介護等の多職種が協働して高齢や認知症になった方が地域で安心して暮らし続けるために何が必要か、個々のケースから地域の課題解決に向けた会議のことです。



高齢者さがしてネットワーク

秋田東警察署に認知症高齢者等の行方不明届出をされたとき、ご家族等の同意を得た上で、秋田市や包括支援センターに情報が提供され、包括を通じて協力事業者（当地域では14事業所が登録）と一緒に地域ぐるみで早期発見に努めています。



運転免許の返納について

近年、交通安全のため、75歳以上の方の講習内容が変わったり、運転免許を返納する方がとても増えてきました。河辺の人はどうしてる？

車の運転をやめた人にインタビューしました。



佐藤 芳雄さん 94歳

太陽堂時計店店主

今も現役!!

家族：妻と二人暮らし

運転をやめた時期：昨年9月21日

趣味：菊栽培と将棋（将棋連盟の会長やねんりんピックに出場した経歴の持ち主!!）週1回運動型デイサービス利用中

Q. なぜ運転をやめたのですか？

本人：子供達が心配し90歳になった頃から会うたびにやめろと言われていた。車検が切れるのを機に運転をやめることを決意し車を廃車にした。免許返納は近くの駐在所で出来る様になったというので、そのうち行こうと思っている。

妻：何度も警察署で表彰されている優良運転者で、事故を起こしたことがなかったので自分でやめると話したことはなかった。

Q. 運転をやめて困ったことは？

今のところ特にない。周りがサポートしてくれている。通院や買い物（マックスバリュ）はタクシー（てくてく歩く）で行く!!自分でも頑張れるところは頼らずに頑張りたい。

Q. 家族のサポートは？

市内に住む息子が買い物をしてきてくれる。近隣に住む親戚がおかずを届けてくれたり、送迎してくれたりと色々面倒を見られる。

Q. ずばり!!免許を返納して良かった??

良かった!!何よりも子供たちがとても喜んでいる。事故を起こす前にやめてよかったと思っている。



ホームページ (HP) 開設しました!

秋田市社会福祉協議会公式ホームページから、地域包括支援センター社協をクリックすると河辺地域包括支援センター社協のホームページがご覧になれます。

秋田市社協HP <http://www.akita-city-shakyo.jp/>

お問い合わせ先



社会福祉法人秋田市社会福祉協議会

河辺地域包括支援センター社協

〒019-2625 秋田市河辺北野田高屋字上前田表66-1

河辺総合福祉交流センター内 TEL018-882-5565